〈解答〉

1　1　ウ
　2　イ
　3　(1)　二十一か条の要求　　(2)　①：ランプ〔行灯〕　②：電灯
　4　ア→ウ→イ（完答）
　5　マッカーサー
　6　(1)　イ　　(2)　エ

配点　1 4は2点，他は各1点　10点満点

〈解説〉

1　1　岩倉使節団は，1871年～1873年にかけて，不平等条約の改正の希望を諸外国に知らせ，外国の制度を調査する目的で，岩倉具視を全権大使とし，政府が派遣した欧米視察団である。1858年に結ばれた日米修好通商条約は，アメリカに領事裁判権を認め，日本の関税自主権がないなど，日本にとって不利な内容を含む不平等条約であった。次いで，オランダ，ロシア，イギリス，フランスとも，同じ内容の条約を結んだ。その後，1894年，陸奥宗光外相のとき，領事裁判権の撤廃に成功し，1911年，小村寿太郎外相のとき関税自主権を完全に回復した。

2　甲午農民戦争は，1894年に朝鮮でおこった農民の抵抗で，東学を信仰する人々を中心に農民は，外国人排斥，雑税の廃止，耕作地の均等化などを求めて，朝鮮全域に闘争を展開した。政府は清に援軍を求め，日本も朝鮮侵略の好機として出兵して日清戦争に発展した。ア三・一独立運動は，1919年3月1日，朝鮮でおこった民族独立運動である。ウ江華島事件は，1875年，日本軍艦が朝鮮半島西海岸の江華島付近の水路調査を名目に領海に侵入して，朝鮮側に砲撃された事件で，日本はこれを利用して軍事的な圧力をかけ，日朝修好条規を結んだ。エ義和団事件は，1899年，欧米諸国の侵略に不満をもった中国の民衆が，義和団を中心に反乱をおこし，「扶清滅洋（清をたすけて外国勢力をうち滅ぼす）」を唱え，翌年，各国の公使館をおそった事件である。

3(1)　第一次世界大戦で，欧米列強のアジアへの影響力が弱まると，1915年，日本は中国の袁世凱政府に対して二十一か条の要求を示し，大部分を強引に認めさせた。

(2)　発電設備が整備されたことにより，家庭の照明は，ランプや行灯（あんどん）から電灯へと変わっていった。

4　アは1931年，ウは1932年，イは1936年のできごとである。

5　連合国軍最高司令官総司令部〔GHQ〕は，第二次世界大戦後，連合国軍の日本占領のために設けられた最高司令部で，この指令に従って，日本政府が政策を実施する，間接統治の方法がとられ，その下で戦後改革が行われた。

6(1)　サンフランシスコ平和条約は，1951年，サンフランシスコ講和会議で成立した日本と連合国との講和条約で，日本と連合国55か国のうち48か国が調印した。日

本は朝鮮の独立を認めるとともに台湾，南樺太，千島列島などを放棄し，沖縄と小笠原諸島，奄美諸島をアメリカ合衆国の施政権下に置くことに同意した。アは1919年に調印された第一次世界大戦の講和条約，ウは1945年７月に発表された，日本の降伏を勧告する宣言で，日本は８月14日に受諾した。エはサンフランシスコ平和条約と同時に結ばれた条約で，アメリカ軍が引き続き日本にとどまり，軍事基地を使用することを認めた。

⑵　佐藤栄作は1964年から７年８か月にわたり首相を務め，日韓基本条約を結び，小笠原諸島や沖縄の返還を実現した。1967年には，核兵器を「持たず，つくらず，持ちこませず」という非核三原則を発表した。ア田中角栄は，中国と1972年に日中共同声明によって国交を正常化した。その内容に基づいて，1978年には日中平和友好条約が結ばれた。イ鳩山一郎は，1956年，日ソ共同宣言に調印し，ソ連との国交を回復した。ウ吉田茂は，1951年にサンフランシスコ講和会議に首席全権として出席した。